

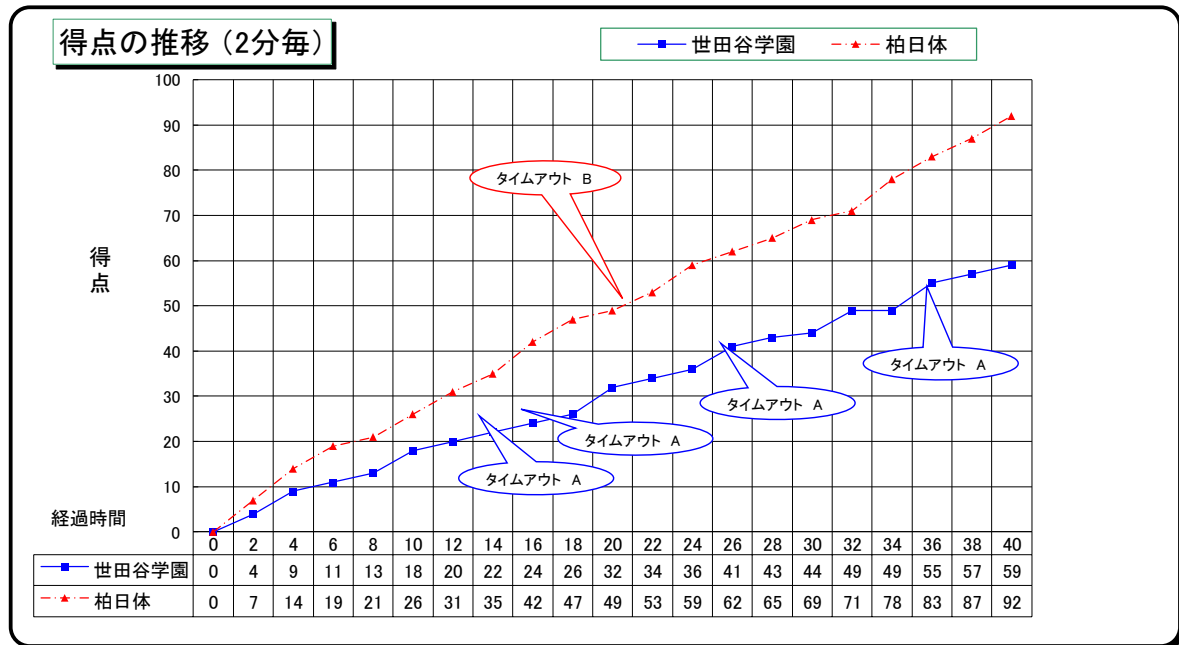
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会
兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会
＜1回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Dコート	第4試合 13:30～													
<チームA> 世田谷学園 東京		59 { <table border="0"> <tr><td>18</td><td>1Q</td><td>26</td></tr> <tr><td>14</td><td>2Q</td><td>23</td></tr> <tr><td>12</td><td>3Q</td><td>20</td></tr> <tr><td>15</td><td>4Q</td><td>23</td></tr> </table> } 92	18	1Q	26	14	2Q	23	12	3Q	20	15	4Q	23	<チームB> 柏日体 千葉		
18	1Q	26															
14	2Q	23															
12	3Q	20															
15	4Q	23															
主審: 大澤 尚樹(神奈川) 副審: 吉田 健介(茨城)																	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	播谷 真伍	14	1	5	1	1
◎	5	関根 大輔	10	2	1	2	2
◎	6	三瓶 夏希	4		2		2
◎	7	大崎 颯斗	6		3		
○	8	山川 泰正					1
	9	篁 祐迪					
○	10	竹内 峻馬	8		3	2	3
○	11	松林 樹輝	3	1			1
◎	12	稲見 紘平	12		6		4
○	13	飯田 遼					
○	14	朝山 颯斗					1
○	15	深野 芳析	2		1		
	16						
	17						
	18						
コーチ		伊藤 恒					
合計			59	4	21	5	15

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	堀内 孟	14	2	4		
○	5	坂田 拓真	1			1	
◎	6	益子 輝楓	16	2	5		2
◎	7	阿部 諒太郎	5		2	1	
○	8	阿辻 礼磨	4		2		2
○	9	中森 一綺	1			1	
◎	10	ニヤムファー・ハンブラグ	22		10	2	2
◎	11	雑賀 亮	11	1	4		3
○	12	嘉野 啄也	8	1	2	1	1
○	13	生島 和也					
○	14	庄司 大我					1
○	15	伊藤 亮啓	2		1		
○	16	原 蒼太郎					
○	17	藤岡 慎太郎	2		1		1
○	18	テムヴィカセド・イヴオン	6		3		
コーチ		野澤 亨					
合計			92	6	34	6	12

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 永岡 真一

第1P, 世田谷学園(以下世田谷), 柏日体は両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。柏日体は⑥益子の3Pや⑩雑賀のジャンプシュートなどで得点する。一方, 世田谷は⑦大崎のジャンプシュートや④幡谷のドライブインなどで対抗。中盤, 柏日体は⑩ハンブラグがインサイドを支配し, 得点を重ねていく。世田谷は④幡谷がドライブインをするが, 柏日体の⑩ハンブラグを中心とする堅い守りで得点をする事ができない。柏日体の④堀内の3Pもあり, 第1Pは26-18で柏日体がリードして終える。

第2P, 柏日体は⑩雑賀の3Pや⑩ハンブラグのインサイドプレーで得点し, 残り8分10点差になったところで, 世田谷はタイムアウトを取った。しかし流れを変えることはできず, 逆にシュートミスやパスミスが目立つ展開であった。一方, 柏日体は⑥益子のドライブインや⑤坂田の3Pで点差を広げていき, 49-32で柏日体リードで前半を終えた。

第3P, 柏日体は⑩ハンブラグのブロックショットからの⑥益子の速攻などで勢いを増し点数を重ねていく。対する世田谷は④幡谷バスケットからの速攻や⑫稲見のインサイドプレーなどで得点するものの点差を縮めるまでには至らない。その後も柏日体は⑩ハンブラグのリバウンドやブロックショットなどでインサイドを支配し, 69-44で柏日体リードで3Pを終えた。

第4P, 柏日体はディフェンスを2-1-2のゾーンディフェンスにし, 1年生の⑫テムヴィをインサイドに据えてプレッシャーをかけていく。またオフェンスでは④堀内のドライブインや⑩テムヴィのインサイドプレーで着実に得点を重ねていく。一方の世田谷は⑤関根の3Pや⑫稲見のバスケットからの速攻などで反撃するものの点差は縮まらない。柏日体は⑩ハンブラグと⑫テムヴィの両センターが終始インサイドを支配し, 世田谷に流れを渡さなかった。世田谷は柏日体の高さ到最后まで苦しめられ, 柏日体が92-59で勝利した。